

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公開番号】特開2011-248124(P2011-248124A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-121772(P2010-121772)

【国際特許分類】

G 09 C 1/00 (2006.01)

G 06 F 21/60 (2013.01)

【F I】

G 09 C 1/00 6 6 0 D

G 06 F 12/14 5 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月27日(2013.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部記憶装置と接続されたデータ暗号化装置であって、

入力されたデータを変換する変換手段と、

前記変換されたデータを暗号化し、暗号化されたデータを前記外部記憶装置に出力する暗号化手段を有し、

前記変換手段は、予め定められた第1のデータが入力された場合は前記第1のデータを前記暗号化手段の暗号化アルゴリズムで復号した第2データに変換し、前記第2のデータが入力された場合は前記第1のデータに変換し、前記第1のデータと前記第2のデータと異なる第3のデータが入力された場合は変換せずに、前記暗号化手段に出力することを特徴としたデータ暗号化装置。

【請求項2】

外部記憶装置と接続されたデータ暗号化装置であって、

入力されたデータを暗号化する暗号化手段と、

前記暗号化されたデータを変換し、変換されたデータを前記外部記憶装置に出力する変換手段とを有し、

前記変換手段は、予め定められた第1のデータが入力された場合は前記第1のデータを前記暗号化手段の暗号化アルゴリズムで暗号化した第2データに変換し、前記第2のデータが入力された場合は前記第1のデータに変換し、前記第1のデータと前記第2のデータと異なる第3のデータが入力された場合は変換せずに、前記外部記憶装置に出力することを特徴としたデータ暗号化装置。

【請求項3】

外部記憶装置と接続されたデータ暗号化装置であって、

テーブル情報を記憶する記憶手段と、

入力されたデータが前記テーブル情報に含まれている場合は、前記入力されたデータを変換する変換手段と、

前記変換されたデータを暗号化し、暗号化されたデータを前記外部記憶装置に出力する暗号化手段を有し、

前記テーブル情報は、少なくとも、予め定められた第1のデータと、前記第1のデータを前記暗号化手段の暗号化アルゴリズムで復号した第2データを含み、

前記変換手段は、前記第1のデータが入力された場合は前記第2データに変換し、前記第2のデータが入力された場合は前記第1のデータに変換し、入力されたデータが前記テーブル情報に含まれていない場合は、入力されたデータを変換せずに前記暗号化手段に出力することを特徴にしたデータ暗号化装置。

#### 【請求項4】

外部記憶装置と接続されたデータ暗号化装置であって、

テーブル情報を記憶する記憶手段と、

入力されたデータを暗号化する暗号化手段と、

前記暗号化されたデータが前記テーブル情報に含まれている場合は、前記入力されたデータを変換する変換手段を有し、

前記テーブル情報は、少なくとも、予め定められた第1のデータと、前記第1のデータを前記暗号化手段の暗号化アルゴリズムで暗号化した第2データを含み、

前記変換手段は、前記第1のデータが入力された場合は前記第2データに変換し、前記第2のデータが入力された場合は前記第1のデータに変換し、前記暗号化されたデータが前記テーブル情報に含まれていない場合は前記暗号化されたデータを変換せずに、前記外部記憶装置に出力することを特徴にしたデータ暗号化装置。

#### 【請求項5】

前記第1のデータは、前記外部記憶装置に記憶されているデータを無効化するデータであることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のデータ暗号化装置。

#### 【請求項6】

前記第1のデータ、あるいは、前記第2のデータかが入力されたかを判定する判定手段をさらに有することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のデータ暗号化装置。

#### 【請求項7】

外部記憶装置と接続されたデータ暗号化装置の制御方法であって、

判定手段が、入力されたデータが、メモリに記憶されたテーブル情報に含まれるかを判定する判定ステップと、

変換手段が、入力されたデータが前記テーブル情報に含まれている場合は、前記入力されたデータを変換する変換ステップと、

暗号化手段が、前記変換されたデータを暗号化し、暗号化されたデータを前記外部記憶装置に出力する暗号化ステップを有し、

前記テーブル情報は、少なくとも、予め定められた第1のデータと、前記第1のデータを前記暗号化における暗号化アルゴリズムで復号した第2データを含み、

前記変換ステップは、前記第1のデータが入力された場合は前記第2データに変換し、

前記第2のデータが入力された場合は前記第1のデータに変換し、入力されたデータが前記テーブル情報に含まれていない場合は変換しないことを特徴にしたデータ暗号化装置の制御方法。

#### 【請求項8】

外部記憶装置と接続されたデータ暗号化装置の制御方法であって、

暗号化手段が、入力されたデータを暗号化する暗号化ステップと、

判定手段が、暗号化されたデータが、メモリに記憶されたテーブル情報に含まれるかを判定する判定ステップと、

変換手段が、前記暗号化されたデータが前記テーブル情報に含まれている場合は、前記暗号化されたデータを変換し、変換されたデータを前記外部記憶装置に出力する変換ステップとを有し、

前記テーブル情報は、少なくとも、予め定められた第1のデータと、前記第1のデータを前記暗号化における暗号化アルゴリズムで暗号化した第2データを含み、

前記変換ステップは、前記第1のデータが入力された場合は前記第2データに変換し、

前記第2のデータが入力された場合は前記第1のデータに変換し、暗号化されたデータが前記テーブル情報に含まれていない場合は変換せずに、前記外部記憶装置に出力することを特徴にしたデータ暗号化装置の制御方法。

【請求項9】

コンピュータに読み込まれ実行させることで、前記コンピュータを、請求項1及至6のいずれか1項に記載のデータ暗号化装置の各手段として機能させることを特徴とするプログラム。